

## A D B のフューチャー・カーボン・ファンド 稼働開始

【ポーランド・ ポズナニ、2008年12月10日】 アジア開発銀行 ( A D B ) は、2013年以降に発生する排出権を対象にした「フューチャー・カーボン・ファンド ( Future Carbon Fund )」の構想を本年7月に発表した。これまでに1億ドルを超える拠出コミットが寄せられたことから、同ファンドは来年1月から稼働を開始する。ファンドのパートナーは公的セクターからの参加で概ね半分、残る半分への参加を民間企業に呼びかける。

A D B が運営・管理する F C F は途上加盟国における、再生可能エネルギーやエネルギー効率化等の温暖化ガス削減プロジェクトへのファイナンス供与を主眼とするもので、ファンド規模は2億ドルが最終目標。

温暖化ガス排出削減や排出権取引に関する現行の国際的枠組みである京都議定書は、2012年12月で第一約束期間が終わることから、2013年以降の「ポスト京都」の投資についての先行きが不透明となっている。

A D B の F C F は、2013年以降に排出権が発生するプロジェクトに対し、プロジェクト開始時点で資金を提供する点に特徴があり、これによりプロジェクト事業者は大規模な初期コストの負担軽減とともに、新規投資の喚起効果も期待されている。一方、国際的な枠組みが合意に達していない状態にあっても、温暖化ガス排出の削減目標を既に掲げている、もしくは検討中の各国政府や機関にとっては、F C F をもってしてアジア太平洋地域における低炭素プロジェクトへ投資を行い、その対価としてカーボンオフセットを可能ならしめることになる。

FCFへの参加者は、フィンランドやスウェーデン等各国からの参加で全体の半分に達し、公的セクターからの募集目標額を既に上回っている。そのためADBでは、アジアや欧米各地でセミナーを開催し、大量の温室効果ガスを排出する電力業界や製造業、航空業界をはじめとする民間セクターに残り半分の出資を働きかける。

当地での国連気候変動枠組み条約締約国会議(COP14)に出席しているADBのシェーファー＝プロイス副総裁は記者団に対し、「FCFは、今こそ行動を起こすべきと考えているADB、各国政府、そして民間企業によるPPP(官民協力パートナーシップ)である」とした上で、「FCFによって温暖化ガス削減の将来的な価値が活用され、FCFの投資によって途上国のプロジェクト開発が促進され、地球の未来を守ることになるだろう」と述べた。

ADBでは先行スキームとして、カーボンマーケット・イニシアチブ(CMI)があり、クリーン開発メカニズム(CDM)プロジェクトに対し資金・技術面での支援を行っているが、今回のFCFは、主としてADB融資プロジェクトからの「ポスト京都」排出権を対象としている点で、このCMIを補完する位置づけにある。2013年以降を見据えた他のカーボンスキームとの相違点は、排出権発行後にプロジェクト事業者に支払いを行う従来の「ペイメント・オン・デリバリー」(後払い)方式と異なり、FCFは資金をアップフロントで提供することであり、FCFから資金提供を受けるプロジェクトの第1号案件は早ければ2009年下期にも実現する見込み。

FCFを通じてエネルギー効率化や再生可能エネルギーの活用に向けたインセンティブをADB途上加盟国に提供することは、アジア太平洋地域におけるエネルギー安全保障に資するものであり、地球温暖化の影響を軽減するものである。

—地球温暖化はアジア太平洋の各国においても大きな問題となっており、ADBの試算では、2020年には12億人に上る人口が飲用水の不足に苦しむと見られる他、

**お問い合わせ先**

駐日代表事務所

広報担当：望月 章子

T: +81 3 3504-3441/3160

E-mail: [amochizuki@adb.org](mailto:amochizuki@adb.org)

ADBのニュースリリース(和文)は、下記URLにてご覧いただけます。

<http://www.adb.org/JRO/doc-news.asp>

中央・南アジアでは 2050 年における穀物生産量が現状から半減すると見られている。さらに、アジアの沿岸都市では、洪水被害が深刻化するとも見られている。

---

**お問い合わせ先**

駐日代表事務所

広報担当：望月 章子

T: +81 3 3504-3441/3160

E-mail: [amochizuki@adb.org](mailto:amochizuki@adb.org)

**ADB のニュースリリース (和文) は、下記 URL にてもご覧いただけます。**

<http://www.adb.org/JRO/doc-news.asp>